

川島織物セルコン創業 180 周年記念特別企画

「澤部清五郎生誕 140 年 川島と歩む 綴織壁掛」展

川島織物文化館 2023 年 2 月 24 日（金）～ 2024 年 2 月 2 日（金）



株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：木村弘一）は、本社に併設の川島織物文化館（京都市左京区）で、創業 180 周年記念特別企画「澤部清五郎生誕 140 年 川島と歩む 綴織壁掛」展を 2 月 24 日（金）より開催します。「綴織の川島」を支え、大きな役割を果たしたデザイナーの澤部清五郎（1884-1964）が描く、綴織壁掛の原画や織下絵などを展示し、その魅力をご紹介します。

京都・西陣で生まれ、幼少の頃より描くことに長けていた澤部は、四条派の鈴木瑞彦から日本画を学びます。師・瑞彦の没後は、守住勇魚に洋画を学び、1904（明治 37）年 聖護院洋画研究所入門、浅井忠の門下となりました。その後、室内装飾の設計や織物デザイナーとして活躍し、多くの名作を残しました。

当社と澤部清五郎の出会いは、澤部の青年期まで遡ります。澤部の画力に着目した二代川島甚兵衛が澤部に国宝「平家納経」の模写の仕事を委嘱。以来、生涯にわたり川島織物の仕事に携わっています。

織物の世界に魅了され、「染と織、デザインがどうすれば渾然と融和したものになるか」を常に模索し、没するまで当社で大きな足跡を残した澤部清五郎は、川島織物セルコンのモノづくり

の礎を築いた立役者です。

本展では、新大阪ホテル（現：リーガロイヤルホテル）に納めた綴織壁掛「末吉船」「阿蘭陀船」の原画や、宮内省御用品の綴織壁掛「舞楽 蘭陵王童舞 納曽利童舞」の原画、京都・智積院にある障壁画で、国宝の「桜図」と「楓図」から取材した綴織壁掛「池塘春陽」「池塘秋映」の織下絵などを展示します。日本の美をモダンなインテリア装飾に昇華させた澤部清五郎の世界をお楽しみください。

開催概要

タイトル：澤部清五郎生誕 140 年 川島と歩む 綴織壁掛

会 期：2023 年 2 月 24 日（金）～2024 年 2 月 2 日（金）

場 所：川島織物文化館

（京都市左京区静海市原町 265）

休 館 日：土・日・祝祭日、夏期、年末年始、

川島織物セルコン休業日

入 館 料：無料

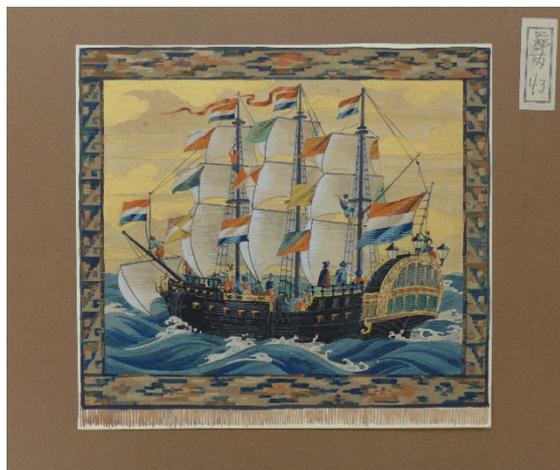
※ ご見学は完全事前予約制です。

※ 新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています。

詳細は ホームページ をご確認ください。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

■ 主な展示作品



- 上段左 綴織壁掛「未吉船」1937（昭和12）年
- 上段右 綴織壁掛織下絵「狩獵」1932（昭和7）年
- 中段左 綴織壁掛原画「厳島管弦祭」1936（昭和11）年
- 中段右 綴織壁掛「厳島管弦祭」製織風景 1936（昭和11）年
- 下段左 綴織壁掛原画「孔雀牡丹」1954（昭和29）年
- 下段右 綴織壁掛小下絵「阿蘭陀船」1934（昭和9）年

■川島織物文化館 概要

1889（明治 22）年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265

株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期・年末年始（川島織物セルコン休業日）

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学希望日の前日 16 時までに電話でお申込みください。

（※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日）

ご予約専用 TEL：075-741-4323

ホームページ：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

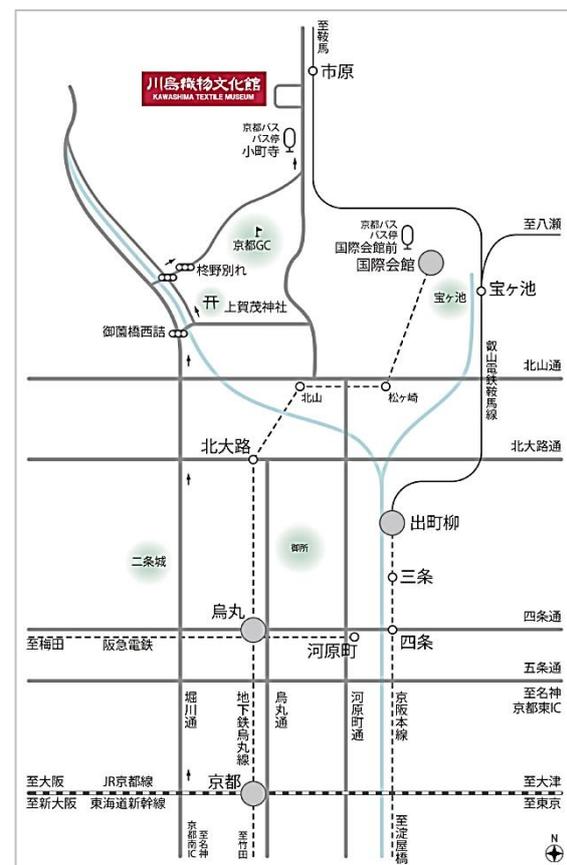
アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

・京都バス（50/52 系統）「小町寺」下車 徒歩約 5 分

・タクシー 約 10 分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約 7 分

●京都駅より タクシーで約 40 分



■川島織物文化館の運営について

川島織物文化館は、新型コロナウイルス感染防止のため、手洗い・うがい・マスクの着用の徹底、咳エチケットの実施などの対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご来館のお客様にもご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。